



# 2022年度 個人株主様向け会社説明会

2022年5月26日

Looking ahead,  
going beyond expectations

*Ahead* > *Beyond*

株式会社 荏原製作所

創業  
大正元年

今年で  
創業**111**年目

**1912年** ▶▶ **2022年**

関係会社数

**107**社



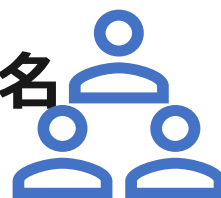
本社所在地

東京都大田区  
**羽田**



従業員数

連結 **18,372**名  
単体 **4,103**名



2021年12月末現在



創業の地 東京荏原町の工場風景



創業者 畠山一清



井口在屋教授

## 荏原の挑戦へのDNAは ここから始まった

荏原製作所は、みのくち式渦巻ポンプを製作する  
大学発ベンチャー企業として1912年に創業

## 創業の精神 『熱と誠』

創業者 畠山一清は『熱と誠』の精神で事業を拡大

### 『熱と誠』

自ら創意工夫する熱意で取り組み、誠心誠意これをやり遂げる心をもって  
仕事をする。そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば相手に通  
じないことは無い。

創業以来、「熱と誠」の精神で技術力と信頼性を強みに社会課題の解決に貢献

1912 日本の近代化	1945 戦後復興と高度経済成長	1980 情報化社会の進展	2000 持続可能な社会の模索	2020~ 多様性と包摂性のある社会へ
<p>社会インフラの整備 →水インフラの整備</p> <p><b>風水力事業</b></p> <p>1912 ポンプ 1921 送風機・ブロア 1930 ターボ冷凍機 1938 コンプレッサ・タービン</p> <p><b>環境プラント事業</b></p> <p>1931 急速濾過装置</p> <p><b>精密・電子事業</b></p>	<p>産業インフラ、都市化による建設需要 →風水力製品および廃棄物焼却設備の開発</p> <p>1958 標準ポンプ</p> <p>1961 ストーカ炉</p>	<p>半導体の需要増加と市場成長 →半導体製造装置・機器の開発</p> <p>1963 吸収式冷凍機</p> <p>1971 都市ごみ用流動床炉</p> <p>1986 ルーツ型ドライ真空ポンプ 1990 バンプめっき装置 1992 CMP装置 湿式排ガス処理装置 1998 電子線検査装置 ベベル研磨装置</p>	<p>環境問題へのさらなる関心 半導体技術の革新の加速 →省エネ製品と再利用技術の提供</p> <p>2019 新型給水ユニット 業界最小クラスの設置面積</p> <p>2002 ガス化溶融炉 2003 EUP 2006 ICFG®(実証)</p> <p>2018 新型 ドライ真空ポンプ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 持続可能な社会づくり</li> <li>■ 進化する豊かな生活づくり</li> <li>■ 社会インフラの強靭化をサポート</li> <li>■ 環境配慮型製品の普及</li> <li>■ 5大陸でより多くの人に使われるメカへ</li> <li>■ 焼却施設での発電効率向上による再生可能エネルギーの利用増加</li> <li>■ 資源リサイクル技術の普及</li> <li>■ 進化する半導体技術に適合する製造装置・機器の永続的な提供</li> <li>■ 半導体製造工程における環境負荷低減への貢献</li> </ul>

ICFB, ICFGは、荏原環境プラント（株）の日本国内における登録商標です

Looking ahead, going beyond expectations  
Ahead > Beyond

# くらしを支える荏原の製品

様々なシーンで荏原の製品が活躍しています。

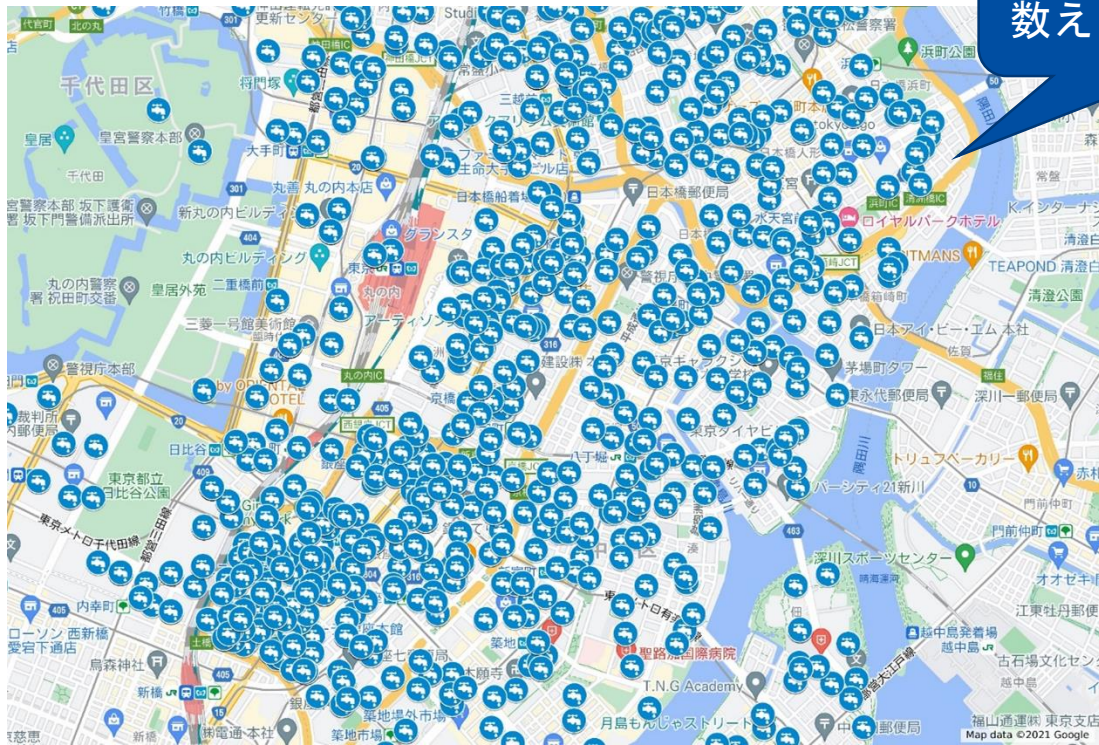




# くらしを支える荏原の製品

国内のみでなく、世界中で荏原の製品が活躍しています。

東京駅周辺でも  
数えきれないほど！



## くらしを支える荏原の製品

国内のみでなく、世界中で荏原の製品が活躍しています。



ラスベガス（アメリカ）  
※取水ポンプ



マーライオン（シンガポール）  
※噴水システム



コロッセオ（イタリア）  
※凹凸部の清掃

# 第157期（2021年12月期）の連結業績

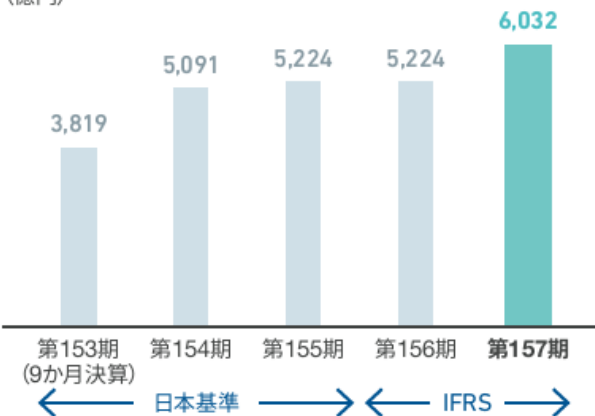


コロナ禍においても安定的な収益を確保

売上収益

6,032億円 ↗

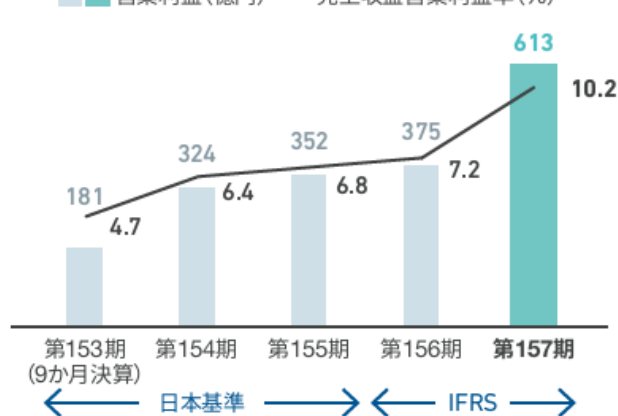
(億円)



営業利益

613億円 ↗

■ 営業利益 (億円) — 売上収益営業利益率 (%)



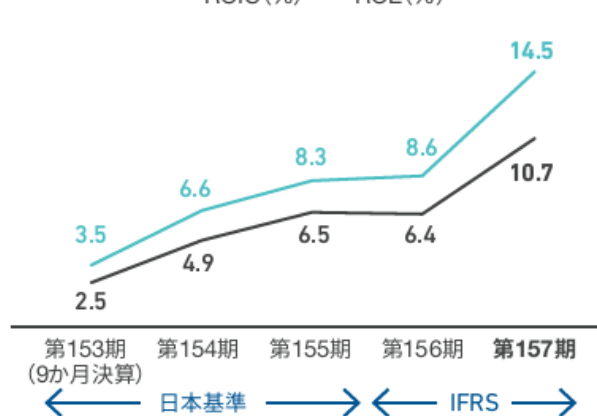
売上収益営業利益率

10.2% ↗

ROIC

10.7% ↗

— ROIC (%) — ROE (%)

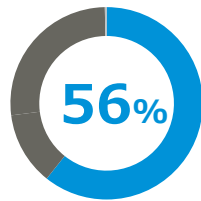


ROE

14.5% ↗



### 風水力事業



3,369 億円

ポンプ



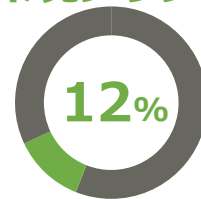
コンプレッサ



冷凍機



### 環境プラント事業



718 億円

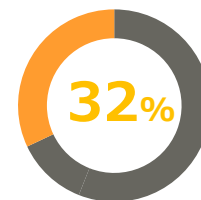
廃棄物焼却プラント



バイオマス発電所



### 精密・電子事業



1,927 億円

CMP装置



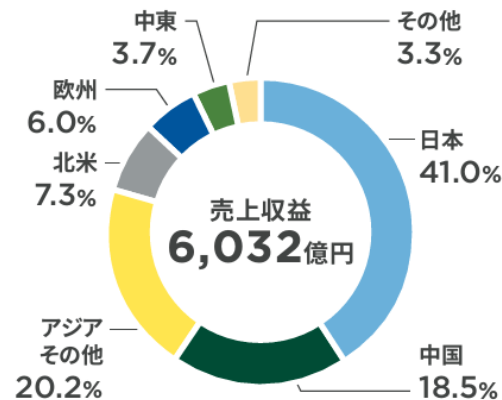
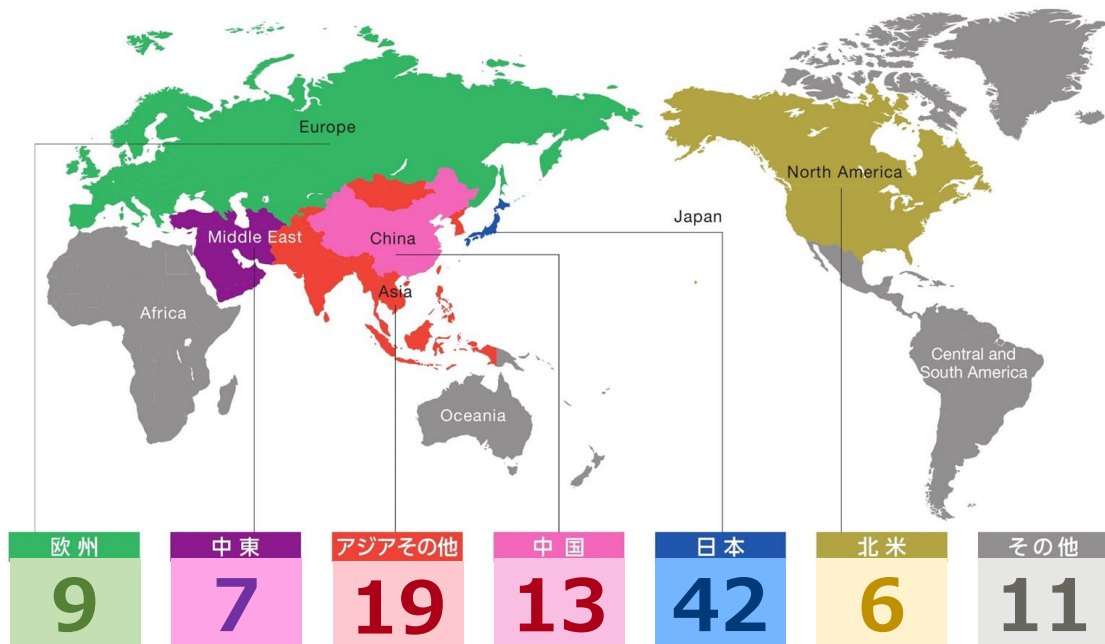
ドライ真空ポンプ



排ガス処理装置



# 世界に広がる荏原の拠点（合計：107社）



地域	売上収益
日本	2,474億円
中国	1,113億円
アジアその他	1,217億円
北米	442億円
欧州	359億円
中東	225億円
その他	199億円

※2021年12月末現在

## 標準ポンプ事業の海外戦略に係る進捗

### 主要施策の進捗

アフリカ・中南米などに10か所以上の拠点を設立しカバレッジを拡大

2021年 4月 トルコのポンプメーカーの買収完了

2021年11月 カナダ拠点設立

### サプライチェーンマネジメントの強化

ベトナム物流センター及びロックダウンセンターの取扱い製品を拡大し  
主要製品のLTを短縮

### グローバル基幹製品の市場投入

欧州などでEVMS-K型※を発売



※EVMS-K型は当社の機種番号です



## 標準ポンプ事業の海外戦略に係る進捗

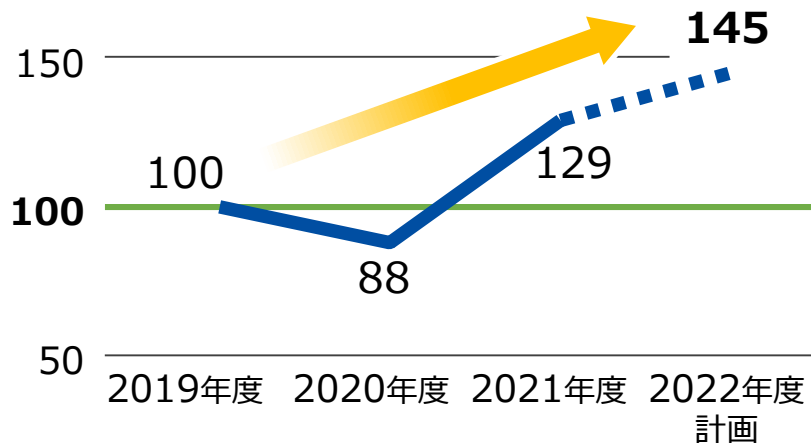
### 今後の主な取り組み

欧州、南米、アフリカに  
6拠点を設立予定

地域ニーズに合致した  
製品の市場投入

各拠点で取扱い機種  
の拡充や  
ハックダウン機能の追加

売上収益（海外）の伸び率  
[ 2019年度実績 = 100 ]





## 精密・電子事業の進捗

### 主要施策の進捗

● 主にシェアアップに寄与

## 競争力強化

### [コンポーネント]

- 製品競争力、製品ラインアップ強化  
11月にドライ真空ポンプと排ガス処理装置の新機種を発売
- EUV露光装置向け排気システム市場に参入、出荷を開始
- 冷熱事業と協業し半導体装置向けチラーを発売



### [CMP]

- 国際的研究機関との共同開発や次世代製品の開発、最先端技術への対応を推進
- 新機種F-REX300XA型<sup>※</sup>を発表

※F-REX300XA型は当社の機種番号です



## 精密・電子事業の進捗

### 主要施策の進捗

● 主にシェアアップに寄与

● 主に収益性改善に寄与

## 海外戦略

- 中国のシェア拡大に向けて順調に新規顧客を開拓

### S & S

#### [コンポーネント]

- 7月に中国のオーバーホール工場を竣工



#### [CMP]

- 海外拠点のS&S技術カレレベルアップのためオンライン教育を開始

### 生産能力

#### [コンポーネント]

- ドライ真空ポンプの自動化工場が本格稼働

#### [CMP]

- 熊本工場に組立ラインを増設、3ラインへ

## 精密・電子事業の進捗

### 今後の主な取り組み

- 熊本工場で既存工場内に第4ラインを増設及び新工場の建設
- EUV露光装置向け排気システムのシェア拡大
- 中国市場におけるシェア拡大
- 藤沢工場で開発新棟の建設
- ドライ真空ポンプの自動生産対象を拡大



# 新規事業への取り組み

	ニーズ 社会課題	× 従原の 保有製品・技術	ビジネス領域	市場成長性	従原の提供価値
水素	2050年カーボンニュートラル	クライオポンプ、コンプレッサ	水素サプライチェーン (液化水素等)	世界的な水素社会構築への取り組みが加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 液化水素関連機器を主体としたソリューション提供</li> <li>■ 燃料供給ポンプの開発・展開</li> </ul>
	情報化社会に向けた衛星・宇宙産業の高まり	ターボポンプ等	航空宇宙 (ロケット部品)	衛星ビジネス普及に伴う需要拡大	
エコ	脱炭素のための廃プラスチックの資源循環	EUP ICFG	ケミカルリサイクル	廃プラスチックの資源循環の需要拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 廃プラスチックの化学原料などへの再資源化</li> <li>■ 途上国での持続可能な水供給システムの提供</li> </ul>
	水不足問題 途上国での水インフラ整備	流体技術 ポンプ	水供給 (飲料水等)	途上国の人口増と経済発展に伴う需要拡大	
マリン	水産資源の需要増 海洋汚染 生物多様性	流体・熱交換技術 ポンプ	陸上養殖	タンパク質・食料不足 水産市場の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 養殖事業における上流から下流（魚販売）までの一体運営</li> </ul>
バイオ	バイオテクノロジーの発展・脱炭素資源	熱流体技術 エンジニアリング システム技術	構造タンパク質素材	タンパク質・食料不足 脱炭素社会への移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産業機械分野における製品の画期的な機能性向上と用途拡大</li> <li>■ 培養プロセスの最適化とニーズにあわせて装置提供</li> </ul>
			細胞培養肉		
			再生医療		



## CP水素関連事業プロジェクト

持続可能な社会、進化する豊かな社会づくりを目指して

### 水素関連事業との親和性の高い当社保有技術と製品

### つくる

カーボン  
ニュートラルな  
水素製造へ挑戦

### 運ぶ

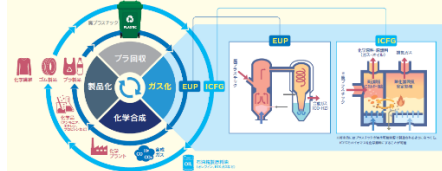
すべての輸送方式に  
不可欠な技術を提供

### 使う

大規模集約型から  
地域分散型の利用へ

#### ◆ 廃プラなどからのガス化 水素製造

- EUP (Ebara Ube Process)
- ICFG (内部循環流動床)



#### ◆ 水素を圧縮・移送する技術

- コンプレッサ

#### ◆ 超低温の液体を運ぶための技術

- ポンプ
- NEDOの水素社会構築技術開発事業に参画、2022年技術実証予定

#### ◆ 大規模水素発電向けの技術

- ◆ 水素ステーション向けの技術
- ◆ **ロケット用ターボポンプの技術**
- ポンプなど

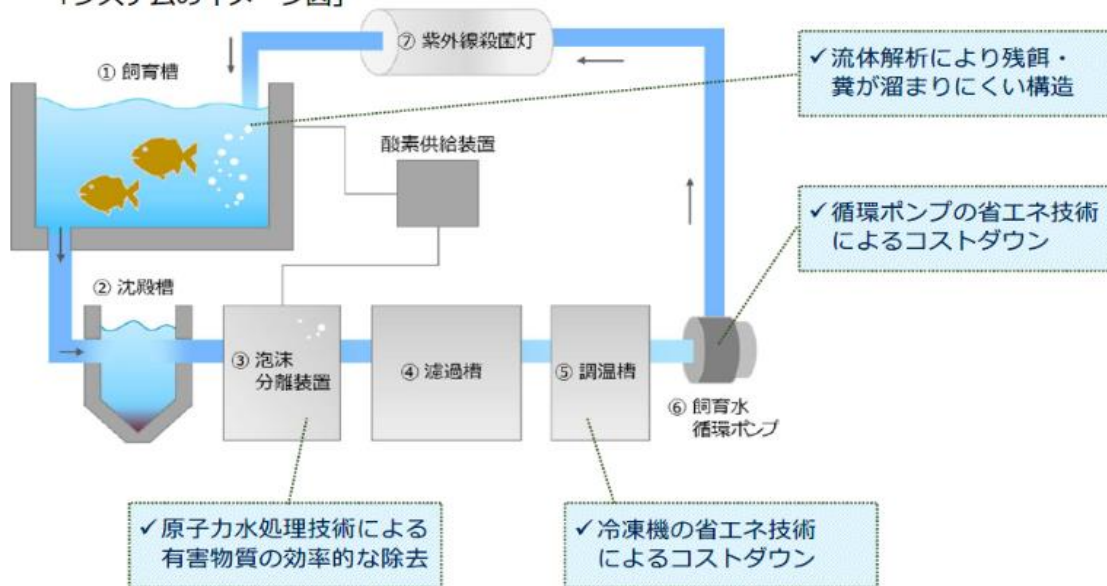


## 陸上養殖




リージョナルフィッシュ株式会社との資本業務提携

地球環境に負担が少なく、病原体などの侵入の恐れがない安全・安心で、安定した品質と量が供給可能な養殖システムの実現を目指す




「システムのイメージ図」



## 2022年12月期第1四半期の進捗

	2021年12月期 第1四半期	2022年12月期 第1四半期	前年度比
受注高	<b>1,594</b> 億円	<b>1,770</b> 億円	<b>11.0%</b> 
売上収益	<b>1,352</b> 億円	<b>1,528</b> 億円	<b>13.0%</b> 
営業利益	<b>122</b> 億円	<b>141</b> 億円	<b>15.9%</b> 

## 2022年12月期の業績見通し

	2021年12月期	2022年12月期 (予想)	前年度比
受注高	7,714億円	6,925億円	-10.2% 
売上収益	6,032億円	6,600億円	9.4% 
営業利益	613億円	660億円	7.5% 





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

荏原グループは、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています